

ご縁の「縁」+楽しむという意味の英語「ENJOY」=「縁じよい」つながりながら楽しもうという取組です。

宮代で共に暮らす映画会・講演会を開催します!

車椅子OK!

日本語字幕付き

映画タイトル

ぼけますから、 よろしくお願ひします。

令和5年11月26日(日)

場所：日本工業大学5号館5-104教室

時間：13:00～16:30(12:00開場)



『ぼけますから、よろしくお願ひします。』この映画は2018年に公開され、ドキュメンタリー映画としては異例の大ヒットを記録しました。アルツハイマー型認知症の診断を受けた母親と、耳の遠い父親。広島県呉市で老老介護をする両親に、一人娘である監督がカメラを向けた本作は、多くの人が“自分ごと”として受け止めました。

上映会の後は、実の娘であり、本作の映画監督でもある信友直子さんによる講演が行われます。この映画を観て、監督のお話を聴くことで、支え合うこと、人と人との絆やご縁の大切さをあらためて感じることができると思います。信友監督によるお話を聴ける、またとないチャンスですよ!

ぜひとも皆さんご参加ください!



講師(監督・一人娘)

信友直子さん来場!



※講演会は
手話通訳がつきます

広島県呉市生まれ。
東京大学文学部卒業。在京キー局で数多くのドキュメンタリー番組を手掛ける。放送文化基金奨励賞、ニューヨークフェスティバル銀賞、ギャラクシー賞奨励賞など受賞多数。本作が劇場公開映画初監督作品。

ご注意! 詳細は同封のチラシをご覧ください。参加するには、事前申し込みが必要です!

今、話題の

地域活動インタビュー！
宮代町での支え合い活動紹介！



「株式会社御用聞き」を紹介します！



今回、地域活動インタビューとしてご紹介させて頂くのは、「株式会社御用聞き」代表の古市盛久さんです。大学生を雇用し、暮らしの中の些細な困りごとを解決する活動を行っており、世代を超えた支え合い活動の旗手として、各種メディアにも取り上げられ注目されています。宮代町でも、同社と協定を結び、日本工業大学の学生が有償ボランティアとして、住民の皆さんの困りごとを解決しています。今後、地域支え合い活動の推進役としても期待されています。

Q：御用聞きとは、どんな会社ですか。

A：暮らしの些細な困りごとの解決ということで、5分100円から始まる家事代行を約13年前から始めています。社会課題解決を目的としたソーシャルビジネスを行っている会社です。

Q：どのような方がご利用されていますか。

A：60代～70代の女性の方が多く利用されています。特徴としては、介護保険の中ではまかないきれないことや、まだ介護保険の利用対象ではない方々の利用が見受けられますが、最近は多世代に広がっています。

Q：活動していて「良かった」と思う時は、どのような時ですか。

A：私達の活動は、お互いが助け合う活動です。生活者さんの感動や喜びに触れること。また、宮代町の活動の主な担い手は日本工業大学の学生さんですが、学生の喜びの表情や、ご自身の成長に繋がっていると感じた時に「良かった」と感じます。

Q：株式会社御用聞き、今後の展望について教えてください。

A：私達は2020年に、『ミッション2025 第五のインフラを日本に作る』というミッションをたてました。2025年の12月末までに、日本の8割の場所で安心・安全・安価で、水道の蛇口で水を飲むような安心できるサービスを届けたいです。

メディア掲載実績

- ・クローズアップ現代
- ・ビートたけしのTVタックル
- ・モーニングショー 等多数



QRコードから、
会社のホームページが
ご覧いただけます。

持ち寄り図書館



民家での草むしり



防犯パトロール



日工大でのミーティング

